

【2021年7月9日現在】

「豊岡 meets 大道芸」 感染症対策の基本方針・ガイドライン

新型コロナウイルス感染症の流行拡大状況を踏まえ、お客様、地域の皆様の健康を第一に、安心して本イベントにご参加いただけるよう、各業界団体が出しているガイドラインを参考に基本方針・ガイドラインを定めました。出演者・スタッフは本方針に沿って感染予防に努めながら準備・運営に取り組みます。

お客様におかれましても、ご不便をおかけしますがご理解・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。 ※なお、当ガイドラインは最新の感染状況に即して随時更新予定です。

※県外から参加する出演者・スタッフは全員PCR検査を受けたうえで豊岡入りし、並行して毎日の検温、体調確認に努めます。その際、発熱や体調不良が報告された場合（感染者の濃厚接触者となった場合も同様）はプログラムを変更して出演・参加を見送ります。

※今後の感染拡大が進んだ場合、本事業は豊岡市及び城崎地域の指針に従って内容を変更しての開催または中止となる可能性があります。最新情報は以下の「豊岡 meets 大道芸 公式 SNS」にてご確認ください。

Twitter [@toyooka_meets](https://twitter.com/toyooka_meets)

Instagram [@toyooka_meets_daidoge](https://www.instagram.com/toyooka_meets_daidoge/)

Facebook <https://www.facebook.com/toyookameetsdaidougei>

◆参照ガイドライン

- [豊岡市における新型コロナウイルス感染症 対策ガイドライン](#)（第2版）（2020年7月27日改定）
- [豊岡演劇祭 2020 新型コロナウイルス感染症対策の基本方針](#)（2020年7月30日改定）
- [緊急事態舞台芸術ネットワーク「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」](#)（2020年12月2日改定）
- [公益社団法人全国公立文化施設協会「新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防ガイドライン改訂版」](#)（2020年9月18日改定）
- [ハブアーティスト活動に当たっての感染拡大防止ガイドライン | 東京都生活文化局](#)（2020年10月30日） 他

【感染防止対策とご協力をお願い】

①お客様へのお願い

(1) 以下の項目に当てはまる方は、ご来場をお控えください。

- ・ 37.5度以上の場合や発熱等風邪症状があり、体調に不安のある場合
- ・ 過去2週間以内に「37.5度以上の場合や体調不良の諸症状がある」「新型コロナウイルス感染症を疑う症状を呈した方との濃厚接触がある」「政府から入国後の観察期間を必要とされている国・地域への渡航、並びに当該国・地域在住者と濃厚接触がある」のいずれかに該当する場合

(2) 感染予防のため観覧時には、マスクの着用及び咳エチケットへのご配慮をお願いいたします。

(3) 公演中の観客エリアでは食事をご遠慮ください。（水分補給のための飲料は除く。）

(4) 公演中は出演者およびお客様同士のソーシャルディスタンスの確保、歓声ではなく拍手等での応援にご協力ください。

(5) 公演前後を問わず、お客様同士や出演者との大きな声または対面での会話や、差し入れ・プレゼント・写真撮影等はお控えください。

(6) ご観覧の前に、感染者と接触した可能性がある場合に利用者に通知する以下のサービスの登録にご協力ください。

- ・ 厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

- ・ 兵庫県新型コロナ追跡システム

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk39/covid19_chase.html

②出演者・スタッフの取り組み

(1) 検温

- ・ 関係者全員の体調管理に努め、開催3日前から検温を義務付け体調不良の早期発見に取り組みます。また、公演開始前に検温を再度おこないます。

・37.5℃以上の発熱や体調に異変がある者が現れた場合は速やかに隔離等を行い、帰国者・接触者相談センター等に連絡し、対応を相談します。

(2) マスク

- ・スタッフは会場内で常時マスクを着用します。
- ・出演者は本番時・リハーサルで必要な時以外は常時マスクを着用します。
- ・マスクを着用しての公演をし難い演目（楽器演奏やアクロバット等）や発声を行わない演目（パントマイム等）を行う出演者については、マスクを着用しない代わりに飛沫防止対策として観客との十分な距離（2m以上）を確保する等の代替措置をとります。

(3) 消毒

- ・出演者及びスタッフの定期的なアルコールによる手指消毒を徹底します。
- ・関係者の道具類や劇場の機材に関してはできるだけ共有をおこなわず、各自責任を持って消毒をおこないます。
- ・スタッフはアルコールスプレー・ウェットティッシュ等の消毒備品と予備マスクを常時携帯し、必要な場面でお客様や出演者に提供します。

(4) ソーシャルディスタンス

- ・公演開始前に、ロープ・看板等の目印を用いて出演者と観客とのソーシャルディスタンスを確保します。

(5) 感染防止対策の呼びかけ

- ・出演者及びスタッフは公演時に看板等を用いて以下の呼びかけを行います。
 - ①観客にはマスク等をつけた上で観覧してもらい、発声を控えて拍手等での応援をしていただく。
 - ②公演中も適宜、観客同士の一定の距離の確保を呼びかけ、人が対面で向き合う状況を避けるように務めます。
 - ③公演終了後に握手や記念撮影等の時間は設けず、差し入れ等もご遠慮いただく。

(5) 演出上の感染防止対策

- ・客上げ及び飛沫が飛散する可能性が高い演出等、観客との身体的接触や至近距離での会話を伴う演出を極力控え、道具を観客が触るような場合は適宜消毒に務めます。
- ・投げ銭の際も観客との対面での会話や直接の接触を避けるような演出を心がけます、

(6) 通知サービスの推奨

- ・出演者及びスタッフは厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）や「兵庫県新型コロナ追跡システム」等、感染者と接触した可能性がある場合に利用者に通知するサービスの登録を行います。

（7）関係者連絡先の把握

- ・必要に応じて保健所等の公的機関へ提供できるよう全関係者の緊急連絡先、連絡網を作成します。

（8）飲食

- ・ケータリングや軽食・飲料は個装のもののみとし、食事の際も対面や会話を避け、時間や場所を分けるなどの配慮に努めます。
- ・公演期間の前後を含めて関係者同士での会食の場を設けません。

③関係者に感染が疑われる、または感染者が発生した際の対応

感染者にはマスクを着用して自宅・ホテル・会場外で待機してもらい、運営スタッフが当日までの行動を非接触にヒアリングすると同時に関係者名簿を用意し、行政機関からの照会などに備えます。同時に保健所への連絡を行い、その指示に従って、対象となる場所や感染者が使用した備品類の消毒をおこないます。

- ・帰国者・接触者相談センター(豊岡健康福祉事務所)

受付時間 平日:午前9時～午後5時30分

電話番号 0796-26-3660 FAX 番号 0796-24-4410

- ・兵庫県 新型コロナ健康相談コールセンター

電話番号 078-362-9980 FAX 番号 078-362-9874

- ・厚生労働省電話相談窓口 厚生労働省

受付時間：平日・土曜・日曜日 午前9時～午後9時

電話番号 0120-565653(フリーダイヤル)